

●地域特性

- ・ 5市5町それぞれ特徴があり
- ・ 各地域の特色を生かした議論
- ・ 各地域の特色を生かせるような計画
- ・ それぞれの地域の特色をできるだけ残しつつ
- ・ 5市5町の自治体の特色を生かした公平な構想
- ・ 産炭地は、かつては潤っていて、全てについて問題なく行われてきたが、少子高齢化が進み、まちの主な機能が存続できなくなりつつある
- ・ 石炭という産業で栄えたまちであるが故の石炭産業が衰退していった後の激変というのが、他地域と比べると人口減少、さらに高齢化にも向き合う厳しさがある
- ・ 「かつて日本のエネルギーを支えた産炭地域」
- ・ 農業あり、商業あり、産炭地あり
- ・ 高齢化が進み高齢化率が43%
- ・ 65歳以上の高齢者割合の道内上位10位に4市町が入っている
- ・ 高齢化率が高く、人口が減り、幼稚園の入園者は6名しかいないという現状
- ・ 人口減が顕著
- ・ 他の地域よりも人が減っていく状況、地域が衰退していく状況を経験
- ・ 中空知地域は、日本の中でも地震や風水害などの災害が非常に少なく、四季がはっきりした気候で美しい山河や自然を有する地域です。
- ・ 医療や福祉サービスの充実、公共インフラの整備が図られており、だれもが安全で安心して住み続けられることのできる地域です。
- ・ 「国際化」

●地域の強み

- ・ 施設は沢山あり、人口密度が少ないので利用しやすい場所が沢山ある
- ・ 人が少ないことを悲観しないで逆手にとっていける
- ・ 中空知はゆとりのある環境があって大変魅力的
- ・ 地方の良さ、魅力をしっかり発信していく努力
- ・ ”夢ある郷土と家族愛”と題して本圏域の良さを見直す
- ・ 本圏域は魅力溢れる自然環境地域でありながら、住民や大人、こどもはその素晴らしさに気付かず過ごしているのではないか

●人口定住

- ・ 特色を活かし、人口が少なくなっても高齢化社会であっても、だれもが健康で幸せに暮らすことのできる地域として、地域住民の定住とUターンを積極的に受け入れます。
- ・ 住居（空家対策）
- ・ 後継者育成、生活環境の整備
- ・ 後継ぎの問題や高齢者の問題

●自治体間連携

- ・ 今までも連携事業や共同事業はやれることは沢山取り組んできた
- ・ これまで一部事務組合や広域連合で行政事務の効率化を積極的に進めてきており、この定住自立圏を契機に、より一層自治体間の連携や事務の共同化を進め、行政コストの低減に努めます。
- ・ ネットワークを結びやすい条件

●高齢化対策

- ・年をとって一人でも安心して、死ぬまでその地域で暮らしていけるような圏域
- ・高齢になっても、一人で安心して暮らしが送れる地域を目指す。
- ・圏域内の高齢者コミュニティー広場等の設置を図り、交流を深め学習意欲の向上を図る。
- ・高齢者に関わる取組
- ・後継ぎの問題や高齢者の問題
- ・経験をつなぎ、活かしながら高齢化に向き合う施策
- ・高齢者、特に老老介護者、独居老人対策

●子育て環境

- ・就学前児童（幼児期）の教育・保育（養護）の充実（福祉との一体化）
- ・子育て環境が重要

●産業振興

- ・産業振興については、これからは6次化
- ・商工と連携して商品開発
- ・安定した産業は農業であり、二次、三次産業への波及
- ・農業として小さな面積では立ち行かなくなってきたというのと、子ども達が親の職業を継がなくなった
- ・産業がないと生活していけない
- ・活性化
- ・「冷涼な気候を活かし、美味しい米を中心とした農産物の生産」
- ・農畜産業の安定推進
- ・生産製品は圏域での地産地消を原則に安心安全な食糧の確保を推進する

●雇用促進

- ・若年層が働ける環境
- ・冬期間の仕事（除雪）
- ・地元企業の育成とともに雇用創出の条件的支援を行う

●その他

- ・成長する・人口が増えるという中でなされてきた政策のあり方を見直していく時代に来ている